

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2012-57888(P2012-57888A)

【公開日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2010-202627(P2010-202627)

【国際特許分類】

F 2 5 D 17/08 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 17/08 3 0 8

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月29日(2012.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

冷蔵庫本体に上から順に形成された冷蔵室、冷凍室及び野菜室と、
前記野菜室の後方に設けられた機械室に設置された圧縮機と、
前記冷凍室の後方に設けられた冷却器室に設置された冷却器と、
前記冷却器室内に前記冷却器の上方に設けられ前記冷蔵室、前記野菜室及び前記冷凍室に冷気を送風する送風機と、
前記冷蔵室への冷気の供給量を制御する冷蔵室ダンパと、
前記野菜室への冷気の供給量を制御する野菜室ダンパと、
前記冷凍室への冷気の供給量を制御する冷凍室ダンパと、を備え、
前記冷蔵室と前記野菜室への風路は前記冷却器室から先で分岐しており、前記野菜室ダンパは前記冷却器室から前記野菜室へ通じる風路であって、前記冷凍室と前記野菜室を断熱区画する断熱仕切り壁よりも下側に配置したことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 2】

前記圧縮機の停止時に前記冷凍室ダンパを閉、前記冷蔵室ダンパ及び前記野菜室ダンパを開とした状態で前記送風機を駆動する第一の運転を行い、
該第一の運転の後に前記冷凍室ダンパを閉、前記冷蔵室ダンパ及び前記野菜室ダンパを開状態で前記圧縮機を駆動して前記送風機を駆動する第二の運転を行うことを特徴とする、請求項 1 記載の冷蔵庫。

【請求項 3】

前記野菜室の温度を検知する野菜室温度センサを備え、該野菜室温度センサの検知温度に基づいて前記野菜室ダンパを制御して、前記野菜室ダンパを開とするか否か判断する所定温度は、前記圧縮機が駆動している場合よりも前記圧縮機が停止している場合の方を低く設定したことを特徴とする、請求項 2 記載の冷蔵庫。

【請求項 4】

前記冷凍室の温度を検知する冷凍室温度センサと、前記冷蔵室の温度を検知する冷蔵室温度センサと、を備え、前記第一の運転中に前記冷蔵室温度センサの検知温度が設定温度に達した場合、前記送風機を停止して、前記冷凍室温度センサの検知温度に基づいて前記第一の運転から前記第二の運転に移行することを特徴とする、請求項 2 記載の冷蔵庫。

【請求項 5】

前記第二の運転の後、前記圧縮機が駆動した状態で前記冷蔵室ダンパ及び前記野菜室ダンパを閉、前記冷凍室ダンパを開として前記送風機を駆動する第三の運転を行うことを特徴とする、請求項 2 記載の冷蔵庫。

【請求項 6】

前記野菜室の扉の開閉を検知する手段を備え、前記第三の運転中に前記野菜室の扉の開閉が検知された場合、前記野菜室の設定温度を高くすることを特徴とする、請求項 5 記載の冷蔵庫。